

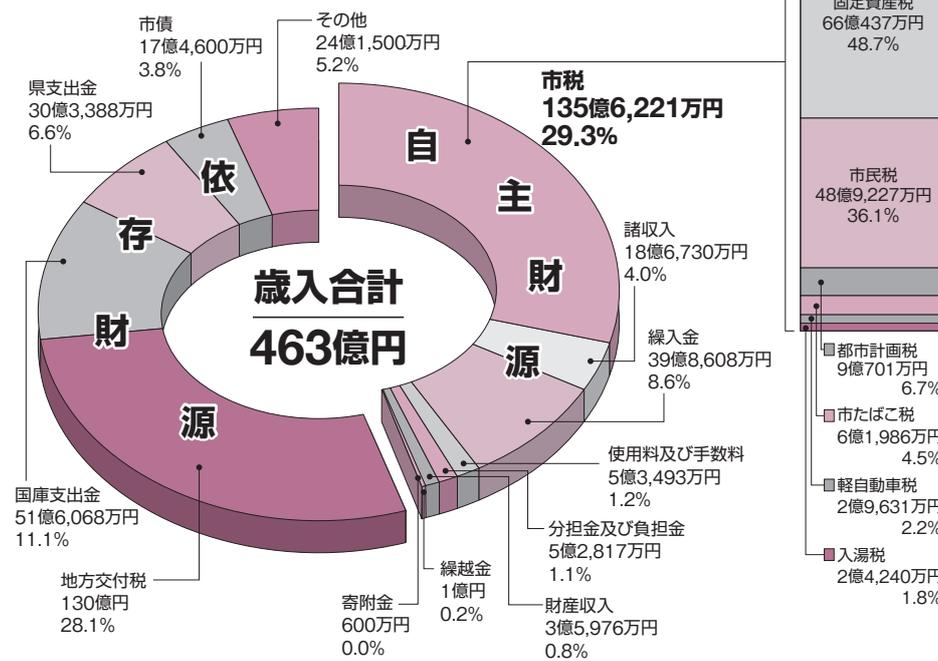
平成29年度 予算

人と自然、そして文化がおりなす 活力とやさしさがあふれる 飛驒高山を目指して

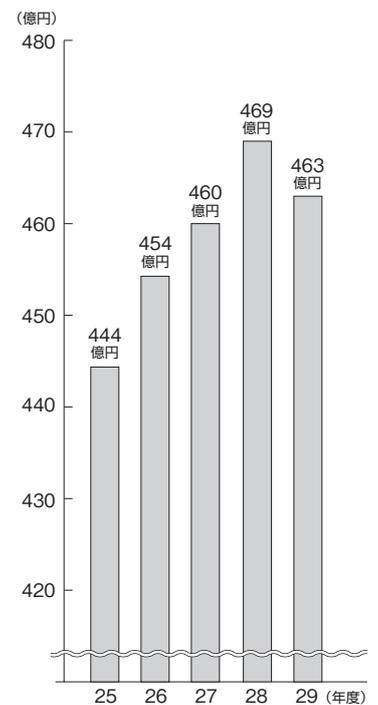
総額777億円のあらまし

市では、2月28日から開会した市議会定例会に、一般会計463億円、特別会計・企業会計314億円余の平成29年度予算案を提案しました。

歳入



●一般会計当初予算の推移



新年度予算案のポイント

平成29年度は、第八次総合計画の3年目、前期の実施計画の中間年にあたり、「人・自然・文化がおりなす活力とやさしさのあるまち 飛驒高山」の実現に向けた取り組みを確かなものとし、しっかりと継続させていくために重要な年であります。市制施行80周年を迎えた高山市が、これまで培ってきたものを大切にしながら、新たな基盤を市民の皆さんと一丸となって築き上げ、次の10年、20年へ向かって新しい一歩を踏み出せるよう予算配分を行いました。

特に今年には、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、起業家の受入れ環境の整備や、サテライトオフィスの整備など、新たな産業の創出や企業誘致をすすめます。また、自治体のシンクタンク機能を持たせた大学連携センターを設立し、サテライトキャンパスの設置も含め大学連携機能を強化するなど、若い世代が活躍する場を創出します。

教育・文化の分野では、新たな時